

不動産鑑定評価の課題と展望

著者 清水 千弘 監修
株式会社谷澤総合鑑定所 著

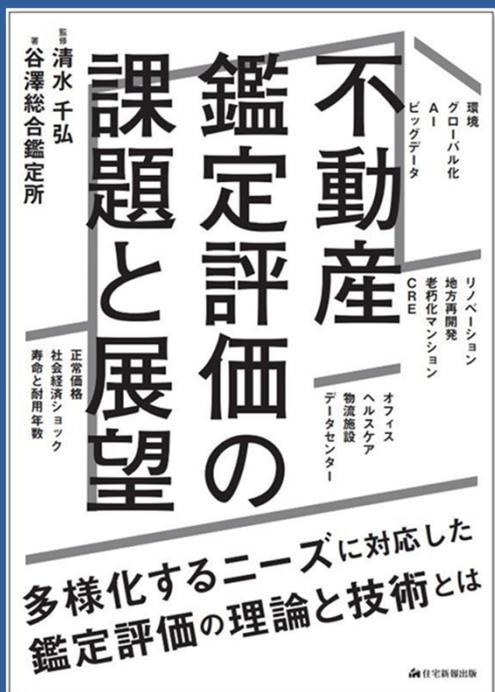
出版年月日 2022年4月14日

出版社 住宅新報出版

判型・ページ数 A5・320ページ

定価 3,850円(本体3,500円+税)

[お求めはこちらから](#)



清水千弘 一橋大学教授監修の下、当社所属の不動産鑑定士等が執筆いたしました。現在の社会情勢に不動産鑑定評価基準を照らし、不動産鑑定評価の必要性及び不動産鑑定士の存在意義を再認識する内容です。不動産の専門家、不動産事業会社で取得・運営等に携わる方、不動産市場に関心のある方にも読んでいただきたい一冊です。

目次

【第Ⅰ部】 不動産鑑定評価の理論

- 第1章. 不動産価格と不動産鑑定評価(清水)
- 第2章. 不動産鑑定評価における正常価格概論(藤井)
- 第3章. 不動産鑑定評価の在り方: 社会経済ショックと不動産鑑定価格(小川)
- 第4章. 不動産の寿命と耐用年数(清水・猿渡)

【第Ⅱ部】 不動産鑑定評価の技術

- 第5章. 不動産の変質と不動産鑑定評価 -高層化・大規模化するオフィスを事例として-(植田)
- 第6章. 高齢化社会に対応した不動産鑑定評価の役割:ヘルスケアアセットのマーケット分析(平山)
- 第7章. 成長する物流施設市場と不動産鑑定評価(高橋)
- 第8章. データセンターと不動産鑑定評価(高島)

【第Ⅲ部】 複雑化・多様化する社会課題と不動産鑑定評価

- 第9章. リノベーションに対応した不動産鑑定評価(三田)
- 第10章. 地方再開発における不動産鑑定評価の役割(小川)
- 第11章. 老朽化マンションの再生と不動産鑑定評価(松崎)
- 第12章. 企業不動産戦略: 企業は不動産とどのように向き合うべきか?(清水・川藤)

【第Ⅳ部】 不動産鑑定評価の未来

- 第13章. 環境配慮型社会と不動産鑑定評価(岩月)
- 第14章. 不動産市場のグローバル化と不動産鑑定評価(野々村)
- 第15章. AIは不動産鑑定士に代わることはできるのか(石川)
- 第16章. ビッグデータを用いた不動産価格推計(金子・新井)